

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 奈良市立都南中学校
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫※注1
☒ 中学校 ☐ 中高一貫※注2 ☐ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他（例：小中高一貫）
所在地 〒630-8443
奈良市南永井町 9 8 - 1
E-mail tonan-j@naracity.ed.jp
Website http://www.naracity.ed.jp/tonan-j/
幼児児童生徒数 男子 271 名 女子 221 名 合計 492 名
幼児・児童・生徒の年齢 12 歳～15 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

3. 活動内容

（1）活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「人間尊重の精神を基盤に、共に学びよりよく生きるための意欲と実践力のある生徒の育成」を学校の教育目標とし、SDGs の「誰一人取り残さない」社会の実現を实践課題とし、ESD の実践を通して「様々な人権課題について、主体的に学び、自ら解決していこうとする力の育成」を目標とした。

具体的には、地域の文化遺産、人権・平和、ジェンダー平等の分野を柱に、①世界遺産に係わる学習、②人権・平和に係わる学習、③ジェンダーフリーとセクシャルマイノリティーに係わる学習を行った。

① 世界遺産に係わる活動

・1 年生では「奈良の世界遺産を知る」とともに、「奈良の世界遺産を通して、それを伝え守ってきた人々の思いを知る」というテーマで、奈良公園や「ならまち」を中心に校外学習を実施した。奈良の世界遺産の中で代表的なものといえば「東大寺」があげられる。東大寺は聖武天皇が詔を出し、建立に至った。しかし、1300 年の歴史の中で、2 度消失している。そのいずれの

時にも、公慶・重源という二人の僧が再建の中心人物として活躍している。国家の権力だけではなく、平和を願う人々の思いを集め、力を合わせて再建に取り組んでいる。ユネスコ憲章の前文には「人の心に平和の砦を築かなければならない」との記載がある。時代は変わっても、平和を願う人々の心は変わらず、国家が主体的に動くのではなく、一人一人の心に主体を置くべきだという考えが受け継がれていることを学習した。

・2年生は京都での校外学習を実施した。京都の伝統や文化、世界遺産を学び、奈良との違いを感じ、多角的な視点をもって奈良を見つめなおす機会とした。

② 人権・平和に係わる学習

1年生では、校区内にある人権にかかわる施設を中心にフィールドワークを行い、地域の方に差別の実態や差別解消への取組とその思いについて学んだ。

2年生では、「もののけ姫」などを教材とし、古代・中世・近世・近代・現代といくつかの時代区分に分け、部落差別を中心にそれぞれの時代の被差別の人々について学んだ。

3年生では、長崎に修学旅行を行い、原爆を中心に戦争の現実について学び、平和への意識を高めた。

③ ジェンダーフリーとセクシャルマイノリティーに係わる学習

2年生から人権学習の中で、「ジェンダー」について学び、社会的に平等とはなっていない実態を学習した。また、2年生から3年生にわたり、近年話題になっているセクシャルマイノリティーについての学習も行った。本校では、そのような学習の中、「男女混合名簿の使用」や「女子制服のスカート及びスボンの選択制」を実施している理由についても学んだ。



① 世界遺産学習



② 人権・平和についての学習
(人権フィールドワーク)



② 人権・平和についての学習
(修学旅行・平和セレモニー)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input checked="" type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

「奈良大好き世界遺産学習」(奈良市教育委員会)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

歴史を作り上げ、それと共にその歴史を守り続けてきた人々の活動に焦点をあて、一人一人がどのような立場で、地域社会に貢献していかなければならないかを考えさせている。世界遺産学習や人権・平和学習を３年間で系統的に学習し、また本物に触れることをや、直接話を聞く機会を大切にし、学びを深める工夫をしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

各取組を企画・立案・運営を担当する分掌を明確にし、年度当初より計画的に企画の立案他や外部との交渉を進めている。また、実施後は速やかにその成果と課題を整理し、次年度に反映できるように総括を行い、全職員に周知している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

約２０名の外部人材による学校運営協議会に毎年取組について提案し承認をいただき、年度末には第三者評価をしていただいている。世界遺産学習や人権・平和学習の取組に対しては、高い評価をしていただいている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

活動をするごとに本校ホームページで活動内容を発信している。保護者をはじめ、地域の方々にも理解していただくとともに、協力していただいた方々にも感謝を伝えることができている。発信内容にESDの視点をしっかりと反映させていくことが、推進拠点校としては必要であると感じている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

活動の実施にあたり、地域の自治会や人権団体の皆さんに、企画の段階から様々な助言をいただき、絶大なる支援をいただいている。しかし、残念ながら大学等やESDコンソーシアムなどとの連携は、現在できていない。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクールとの交流としてはできていないが、ユネスコスクールとなっている学校を含んだ奈良市内の中学校生徒会生徒を中心に、中学生の人権侵害として大きな問題となっている「いじめ問題」に対し、STOPいじめ奈良こどもサミットを企画・運営し、交流を図っている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

特筆すべき活動は、特にありません。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

平成 29 年度と同様の活動を予定している。

- ① 世界遺産に係わる学習
 - ・1 年生（奈良公園）、2 年生（京都）の現地での世界遺産学習
- ② 人権・平和に係わる学習
 - ・1 年生の人権フィールドワーク
 - ・3 年間を通じた人権学習
（障がい者問題、在日外国人問題、部落問題、平和学習等）
 - ・全校生徒による「人権を考える集い」の実施
（各学年の人権学習の取組についての発表と、人権作文の発表）
- ③ ジェンダーフリーとセクシャルマイノリティーに係わる学習